

令和5年度 図書館だより 〈第5号〉



令和5年10月25日(水) 群馬県立太田フレックス高等学校図書室 発行

2023・第77回読書週間 標語：わたしのペースでしおりは進む

終戦まもない1947(昭和22)年、まだ戦争の傷痕が残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日～23日まで第1回『読書週間』が開催されました。これは、アメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

2005(平成17)年、『読書週間』が始まる10月27日が「文字・活字文化の日」に制定され、より一層の盛り上がりが見込まれています。



読書週間にあわせて「2023推薦図書」を作成しました。I・II・III部の各ゼミと通信制に配布しましたので、読書案内として活用してください。読書案内で紹介した図書は、図書室で展示と紹介を行っています。

読書感想画中央コンクール 作品募集

読書によって得た感動を絵画で表現してみませんか。今年度も以下のとおり読書感想画を募集します。絵画を描くのが好きな人、得意な人は、ぜひ挑戦してみましょう。

応募区分 自由に選んだ図書の感想画・指定図書の感想画

用紙 画用紙・ケント紙・キャンバスボード・マニラ紙・ボール紙など
36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下の大きさ

絵具 クレヨン・パステル・水彩・油絵具など。版画・はり絵も可。

★ 応募要項は図書室に掲示してあります。校内の応募締め切りは、令和5年12月22日(金)です。

<指定図書> 近日中に図書室に入ります。



視覚支援学校に通う佑と双葉が、それぞれの葛藤を乗り越え、再び世界に踏み出していく。視覚障害者への理解と共に生きるために、何ができるかを考えるきっかけとなる物語。



少女は、この国で目立った。この国は異なるものを受け入れない。差別、いじめ、裏切り、失恋、絶望の果てに訪れたその国は美の楽園だった。生きることの悲しさで力強さを描く感動作。



創作に情熱を燃やす芸芸部員たち。その中で「クリエイティブな才能って？わたしの表現って？」と、高校2年生の希和子の心は揺れる。東京・下町を舞台に紡がれる青春と恋の物語。



体が大きく吠えるため、捨てられた子犬のパップ。大事にしてくれる男の子がいたのに引き離されてしまった。男の子に再会できる日は来るのか？都会に生きる野良犬たちを描く物語。



広島に住むユリコのいつもの毎日は、一発の原子爆弾で全て失われた。日系アメリカ人著者が被爆者の母の体験をもとに描く物語。

校内ビブリオバトル大会 参加者募集

おすすめの本を5分間で熱く語りませんか～。全校集会の行われる12月22日(金)12:10～図書委員会主催のビブリオバトル大会を開催します。本校生徒及び教職員の参加者を募集します。参加の申込みは図書室までお願いします。参加生徒には、図書委員会より参加賞(図書カード)が配布されます!